

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	13-024	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol intake and triglycerides/high-density lipoprotein cholesterol ratio in men with hypertension. 高血圧男性の飲酒と中性脂肪、HDL コレステロール比		
執筆者		
Wakabayashi I		
掲載誌		
Am J Hypertens. 2013 Jul;26(7):888-95. doi: 10.1093/ajh/hpt033.		
キーワード		PMID
アルコール、血圧、心血管病、脂質異常症、高血圧、中性脂肪/高密度リポタンパクコレステロール比		23519165
要 旨		
<p>背景： 高血圧と脂質異常症は循環器疾患の主な危険因子であり、中性脂肪/HDL コレステロール比 (TG/HDL-C 比)は心血管病の予測因子とされている。飲酒者で血圧が高いことが知られているが、虚血性心疾患などでは軽度飲酒者のリスクが非飲酒者より低いことが知られている。また近年、一般集団で TG/HDL-C 比が飲酒者で低いことが報告されている。そこで、高血圧、飲酒、TG/HDL-C 比について大規模集団での検討を行った。</p> <p>方法： 35-60 歳の男性で正常血圧と高血圧の患者を 1 日当たりの飲酒量で非飲酒群、軽度飲酒群 (<22g/日)、多量飲酒群(22g 以上 44g 未満/日)、大量飲酒群(44g/日以上)に分類した。</p> <p>結果： 通常血圧群に比べて高血圧群で TG/HDL-C 比は有意に高かった。通常血圧群・高血圧群双方で TG/HDL-C 比は軽度・多量・大量飲酒群で非飲酒群より有意に低く、軽度飲酒群で最も低かった。軽度・多量・大量飲酒群に対する非飲酒群の TG/HDL-C 比高値(≥3.75)のオッズ比は、高血圧群で有意に低かった (軽度飲酒群：オッズ比 0.49、95%信頼区間(CI)：0.40-0.59、多量飲酒群：0.59、95%CI:0.52-0.67、大量飲酒群：0.70、95% CI:0.61-0.80)(P<0.01)。また、これらのオッズ比は正常血圧群でのそれぞれのオッズ比に比べ有意に低かった。TG/HDL-C 比高値群は非高値群に比べ高血圧のオッズ比は全ての飲酒群で有意に高く、非飲酒群に比べて軽度・多量・大量飲酒群で有意に低かった。</p> <p>結論： 高血圧のある個人においてアルコールと TG/HDL-C 比の間には逆 J 型の関係があること、アルコールは TG/HDL-C 比と高血圧の正の関連を弱めることが結果より示された。</p>		